

1974 - 1975

委員会活動方針



鹿児島西ロータリークラブ

挨拶

会長 新 福 栄 熊

1974～1975 RI会長ウィリアムR.ロビンズ氏のターゲットは

“RENEW THE SPIRIT OF ROTARY”

ロータリーの精神を振るい起こせ

である。本年度の第373地区ガバナー・竹野融氏もRI会長の方針をふまえて、ロータリアン各自が自分の最善を尽すことが大切であると指示された。

もっと具体的に述べると、ロータリーの力はロータリアン一人一人が、他人のために尽くすという奉仕の理想に自らを献げることから生まれてくるのであって、これがロータリーの精神である。ロータリーの仕事は、何よりも先ず責任を持ち義務を果たすという理想をもった人を作ることである。人を作ることによってロータリーの精神を振るい起こさねばならぬということである。

そこでRENEW THE SPIRIT OF ROTARYをふまえて本年度は次の点に重点をおいて運営してみたいと思う。

- (1) すべての委員会はRI会長のターゲットを中心にマンネリズムに陥らないようロータリー精神を振るい起こして奉仕活動を推進する。
- (2) 本年度は益々明るく楽しいクラブであるように会員の親睦・和が一層深められるよう工夫努力したい。
会員の員数は常に80人位を目途にする。
- (3) 鹿児島西R.Cの外部拡大としての仕事は過去において先輩の努力により、インターアクト結成(鶴丸高校・鹿児島高校)、RC結成(加治木RC、加世田RC、枕崎RC)等優れた業績が残っているが、これらのインターアクト、RCと更に親密な手を握りあって、一層強力なロータリー精神を振るい起こすよう努力したい。

しかし、以上のことはどうしても、会員皆様方のお力添えがなければできないことではない。何卒会員全員の温い限りなき、御指導御協力の程をお願い致したい。

挨拶

幹事 小山 幸 義

入会以来、徒に馬鹿を重ねてきましたが、とうとう幹事の大役をお受けする事になりました。時あたかも、RIの新会長ウィリアム、R、ロビンズ氏のターゲットが「ロータリーの精神を振るい起こせ」と云う事で百年の眠りから、さめた様な気がします。

今後一年間新福会長の女房役として、会長の方針が確実にしかも、西クラブの美しい伝統であるなごやかな雰囲気を見失なう事なく実行されていく様頑張っていく所存ですので、宜敷くお願いいたします。

クラブ奉仕活動方針

副会長 福田 敏 之

1. 基本方針

- (1) クラブ奉仕の各委員会と緊密な連絡をとりながら、効果的な奉仕活動ができるように調整・監督し、助言する。
- (2) 会員の親密な結合・融和をはかる。
- (3) 本年度の目標「ロータリーの精神を振るい起こせ」の方針をふまえて、ロータリアン各自が奉仕の理想の精神を十分に理解して、実践的奉仕ができるように、各委員会と協力する。
- (4) 会員の増強（80名を目標として、確保してゆく）

2. 計 画

- (1) クラブ奉仕各委員長会議を月一回開催し、各種委員会の仕事が円滑に行動に移されるよう留意する。各種委員会の意見を理事会にて調整検討し、決定したものは直ちに行動に移す。

- (2) 年度計画表を幹事と協議の上作製し、各委員長に配布して、円滑なクラブ運営をはかりたい。
- (3) プログラム委員会は年間プログラムを年度当初に作成し、委員長会議で充分検討して、魅力のあるプログラム作りに努める。
- (4) 内部広報の充実
- (5) 本年度は、親睦活動・出席・ロータリー情報に重点をおく。

S A A 活動方針

S A A 木治屋 克 己
副SAA 中 尾 正 昭

1. 基本方針

- (1) 例会場の雰囲気をも明るく、なごやかなものとし、特に外国や県外からの訪問者と新入会員に良い印象を与えるよう努力したい。
- (2) ニコニコボックスの増収を計る。

2. 計 画

- (1) 座席配置の工夫をしたり、ロータリーソング以外の歌や四季の花等で更に雰囲気を和らげるよう努力する。
- (2) 親睦委員長との会談を毎週行ない会合での親睦の増進を計る。
- (3) ニコニコボックスの増収については、親睦委員会や会員のみなさんから小さな情報でも提供をお願いし、増収に努力する。

出席奨励委員会活動方針

		委員長	下野隆三
		委員長	坂口洋右
希望予算額	140,000	委員	平田武雄
		〃	山下静雄
		〃	城哲男

1. 基本方針

本クラブの誇りある伝統である輝かしい出席率の維持に努力する。

又、上級各種会合への出席を奨励したい。

2. 計画

(1) 連続出席者に対する表彰を本年度も引続き実施する。

(2) 常に出席率を把握し、欠席者への連絡を密にする。

(3) 新入会員へのP,Rを行い出席を奨励したい。

会員選考委員会活動方針

		委員長	久保政次
		委員	浜田馨
		〃	岡元健一郎
		〃	久保田彦穂
希望予算額	1,000	〃	前田好文

1. 基本方針

優秀な会員をふやしていくという、観点からともすれば、受身になりやすい立場から、脱却し会員増強、職業分類の委員会とは特に連絡を密にし、ロータリアンにふさわしい人材の選考にあたりたい。選考にあたっては、特に出席の可能性を重視したい。

2. 計画

本年度は、約8名くらいの増加を考慮している。

会員増強委員会活動方針

希望予算額 1,000円

委員長 若松 宇治彦
委員 高井 敏治 内山 光男
唐 一郎 佐伯 次郎 杉 義明

1. 基本方針

会員相互の親密感及び質に重きをおくなどの観点から約80名位の会員数にしたい。

2. 計 画

過年度の期首79名の会員であった。

48年度中に退会11名、入会7名であったが、49年7月に4名新入会の予定であるので、49年7月は79名で発足になる。したがって今後は欠員の補充程度にとどめたい。

職業分類委員会活動方針

希望予算額 70,000円 {印刷代
掲示板
会議費

委員長 安 楽 慶一郎
委員 池 口 恵 観
" 岩 元 健 吉
" 徳 田 基
" 川 村 洋

1. 基本方針

- (1) 当クラブ区域の職業分類調査を行う。
- (2) 充填、未充填の職業分類一覧表を作る。
- (3) 未充填区分については、その充填に会員の協力を求める。

2. 計 画

- (1) 委員会の年次計画次のとおり
区域内分類調査(7月)、分類一覧表(8月)、未充填の表作成(9月)
- (2) 未充填の表を例会場に掲示すると共に一覧表を全会員に配布する。

- (3) 会員選考、会員増強委員会は勿論全会員にもアピールして、会員総数の6%増強充填に努めたい。

プログラム委員会活動方針

希望予算額 80,000円

委員長	岡	山	栄
委員	島	津	忠丸
〃	田	平	礼章
〃	林		幸光
〃	高		義朗

1. 基本方針

- (イ) 例会がロータリーの奉仕活動にふさわしいものとなるようにプログラムを組立てたい。
- (ロ) プログラムの内容は、ロータリーの理解と活動に少しでも役立ち、会員の親睦をより深める様に配慮したい。

2. 計画

- (イ) 会長、幹事及び各委員会のご協力を得て、奉仕活動やその解説等についてのプログラムを増やしたい。
- (ロ) 会員特に新会員の職業、趣味、経験等の紹介をより多くお願いしたい。
- (ハ) 会員のアドバイスを受けて、広く地域社会を知り、より楽しい例会となるような卓話の開発に努める。

広報委員会活動方針

希望予算額 20,000円

委員長	岩	元	基
委員	中	村	善治
〃	河	井	時義
〃	外	西	寿彦
〃	直	居	栄一

1. 基本方針

ロータリー精神とクラブ活動の情報を一般の人々に提供し、ロータリーに対する社会の認識と理解を深めるように立案実行する。

2. 計画

- (1) クラブ内の伝達については、会長・幹事・クラブの各委員長とも常に連絡を取り、会員各自にカバナーのカバナー月信、ロータリーの友等を精読し、常に会員にクラブの計画とか年間を通じてとらんとする方針の伝達に努める。
- (2) 地域社会の伝達については、新聞・ラジオ・テレビ等のマスコミ関係に当クラブの興味ある正確なる情報を提供し、一般社会のロータリーに対する理解を深める様努める。

親睦委員会活動方針

希望予算額 450,000円

委員長	水	洵	清	治	
委員	瀬	戸	山	克	巳
〃	渡	辺			匡
〃	小	園	正		人
〃	川	田	恵		一
〃	有	村	良		男
〃	川	畑	正		美

1. 基本方針

ロータリーの初心は親睦から奉仕へと発展します。例会の出席によって、より多くのロータリアンを知り、ロータリアン同志の親睦を深める。

これにより、奉仕の場を得ることになります。

2. 計 画

1. 例会場の創意工夫を計る。

(イ) 委員会別に席を指定する。

(ロ) 新入会員と他クラブの例会出席者の席を指定する。

(ハ) 会員の趣味別に席を指定する。

2. 各委員会との連絡を密にする。

3. 委員間の親密な結合、融和を計る。

4. 家族ぐるみの小旅行・家族会

5. 婦人のつどい。

ロータリー情報委員会活動方針

希望予算額 50,000円

委員長	宇治野 純 章
委員	土 橋 英 夫
〃	徳 沢 紀 生
〃	岩 男 秀 彦
〃	小 池 鉄太郎

1. 基本方針

(1) 新入会員にロータリーの目的、ロータリアンとしての特典・義務を理解させる。

(2) 会員にロータリーの歴史、綱領及び活動についての知識を与える。

(3) 会員に国際ロータリーの運営方法について知らせる。

2. 計 画

(1) 新入会員に対し、特に入会時の個別指導を行なう。

(2) ロータリーについての勉強会を行なう。

- (3) 新入会員を各委員会の炉辺会合に出席するよう指導する。
- (4) ロータリー関係の情報を週報に掲載して、会員のロータリーに関する知識を深める。

会報雑誌委員会活動方針

希望予算額 250,000円

委員長	鍋 島 宏
委員	平 田 博 司
〃	藤 安 辰 造
〃	三 角 桂 次 郎
〃	久 我 康 博

1. 基本方針

- (1) 週報編集の十分な準備
- (2) 週報を通じ会員の心の交流を計り親睦を増進し会員の増強を促進する。
- (3) 次週例会のプログラムの案内を記事にし週報にのせる。

2. 計 画

- (1) 前例会のプログラムの記事を週報にのせる。
- (2) ロータリアンが会報を通じ、興味を持ち出席率を高める様内容を充実させる様計画する。
- (3) 欠席者の通報を会員に送付してでも各人に届ける。
- (4) ロータリーの友への投稿。

職業奉仕委員会活動方針

希望予算額	40,000円	委員長	福田正臣
		委員	徳留栄次
		〃	桜美四郎
		〃	岩田太一
		〃	山本友博

1. 基本方針

とかく、エコノミックに傾き勝ちな現代の世相ほど、奉仕の精神が大きく強調されねばならない時は無いと思う。ロータリー精神の中核とも言うべき職業奉仕の正しい理念に今一度立ち返って真剣に考えて見たい。

自分の職業に誇りを持ち、特にその道徳的水準を高めることに努力し、職業を通じて本当に社会に奉仕貢献するよう、色々な形で実行する。

2. 計画

- (1) 職業奉仕について、会員各位の御意見(希望や批判)をきく機会を持つ。
- (2) 出来るだけ当クラブの会員の職場を訪問し、見聞する。(職場例会とは別に希望者による訪問見学を度々行ないたい。)
- (3) ローターアクトやインターアクトの会員を中心として、青少年のための職業談話会を行なう。

社会奉仕委員会活動方針

希望予算額	48年度実行予算額 140,000	委員長	原三郎
		委員	有田郁男
		〃	岩元正二
		〃	鮫島志芽太
		〃	川上鉄太郎

1. 基本方針

鹿児島市を住み良い都市とする様に、関係諸団体や当クラブの各委員会と

連絡を密にして、地域社会に於ける問題点を調査研究し、当クラブが地域社会に対する責務を果す様奉仕活動を推進する。

2. 計 画

- (1) 交通安全・火災防止運動への協力援助
- (2) 心身障害児等の救済運動への協力援助
- (3) 老人ホーム等施設への援助
- (4) 老人病対策研究機関への援助
- (5) ローター賞の継続

青少年奉仕委員会活動方針

(ローターアクト・インターアクト)

		委員長	永井利承
希望予算額	400,000円	委員	新原剛
内訳	・例年支出 200,000	〃	柴山一雄
	・インタアクト年次	〃	光吉正昭
	・大会旅費負担(大分) 100,000	〃	佐伯寿郎
	・ローターアクト地区大会補助金 100,000円		

1. 基本方針

ロータリーの活動を通じ、青少年との交流を計り、青少年が健全なる成長をするよう、之を援助する。

2. 計 画

- (1) インターアクトクラブと緊密に連絡をとり、年度内行事を企画し、援助する。
- (2) ローターアクトクラブの例会に出席して、その希望に沿う企画を、援助する。
- (3) インターアクト・ローターアクトと交換学生・留学生との交流を計り、親睦と理解を深めたい。